

赤澤祐子講師が第 29 回ヨーロッパ病理学会で優秀口演賞を受賞

赤澤祐子講師（長崎大学病院病理診断科，原研病理）は 2017 年 9 月 3～6 日にアムステルダムで開催された第 29 回ヨーロッパ病理学会総会において優秀口演賞を受賞しました。同賞は本学会において口頭発表 190 題の中から優秀な発表を行った発表者 3 名に対して授与されました。

受賞対象となった「Increased 53-binding protein 1 nuclear foci expression in the liver of patients with non-alcoholic fatty liver disease」は、原研病理との共同研究で、非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）の肝細胞での DNA 損傷応答蛋白の発現が、NAFLD のゲノム不安定性を推定する指標となり、ゲノム不安定性の亢進が NAFLD から肝細胞癌への発癌に関与していることを示した研究で、今後、NAFLD の発癌メカニズムの解明が期待されます。

Lecturer Yuko Akazawa received the Best Oral Presentation Prizes from the 29th European Congress of Pathology.

